

ワシントン DC 開発フォーラム便り

「ASEAN のために、日本のために、地域と世界のために」

(ASEAN 日本政府代表部大使 紀谷昌彦)

ワシントン DC の皆さん、そして日本と世界で開発問題に取り組んでいる皆さん、こんにちは！ 2001 年から 2003 年までワシントン DC で本フォーラム幹事を務めていた紀谷昌彦です。

フォーラムが 20 年以上継続して、ブラウンバッグランチ(BBL)が 250 回以上、ワークショップが 70 回以上開催され、この隔週のメルマガ(dev-info)が 300 号以上発行されていることを嬉しく思います。これまでの幹事の皆様の努力と参加者の皆様の応援があったからこそ、このネットワークが世界中で活躍する開発関係者を結びつけ、ここまで広がったのだと感じています。

私は昨年 11 月からジャカルタに赴任して、ASEAN を担当しています。今年は日本 ASEAN 友好協力 50 周年です。先月は当地で日 ASEAN 首脳会議が開催され、包括的戦略的パートナーシップ(CSP)が合意されました。12 月には東京で日 ASEAN 特別首脳会議が開催され、新たな時代を共に創るためのビジョンが共同で打ち出される予定です。

この機会をとらえて、日 ASEAN 協力案件を幅広い分野で形成しています。エネルギー移行、気候変動・環境への対処、デジタル化、保健、防災、食糧・エネルギー安全保障、更には文化・人的・知的交流、次世代間の連携など、様々なイニシアティブを具体化する作業が進んでいます。皆さんも関心のある分野が含まれているのではないのでしょうか。

ジャカルタの現地で感じるダイナミズムは、(1)「オールジャパン」のプラットフォーム形成、(2)日本と ASEAN の「共創」の深化、そして(3)インド太平洋から世界への「パートナーシップ拡大」の相互連関です。

言い換えれば、(1)幅広い組織や企業の官民連携で「日本の強み」を現実化すること、(2)ASEAN との協働で現地の社会課題を解決する「イノベーション」を生み出すこと、(3)それを地域と世界に「開かれた協力」で展開していくことです。日本の「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」と ASEAN の「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック(AOIP)」は共鳴するビジョンです。

日本が組織・分野・世代を超えてASEANと正面から向き合い、諸問題の解決に取り組むことで、日本の強みを引き出し、それを地域と世界に生かしていく。世界のためにも、日本を強くすることが必要です。そのためにも、ASEAN はすばらしい友人です。ワシントン DC 開発フォーラムのご縁を生かして、フォーラムに参加されている全ての皆さんと一緒に、世界の開発問題の解決に向けて取組を進めていきたいと思ひます。

日本 ASEAN 友好協力 50 周年にご関心がありましたら、先日の日 ASEAN 首脳会議や 50 周年特設ページをご覧くださいければ幸いです。

(日 ASEAN 首脳会議(2023 年 9 月 6 日、於ジャカルタ))

https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page6_000906.html

(50 周年特設サイト: ASEAN 日本政府代表部)

https://www.asean.emb-japan.go.jp/itpr_ja/special-page.jp.html

(50 周年特設サイト: 日本アセアンセンター)

<https://aseanjapan50.jp/>